

道を歩いて、公園で走ったり遊具に関わったりして、毎日、体を動かしました。どの子も、その子なりに、体がよく動くようになりました。

26-1号のおたよりでも、どんぐりころころの子どもたちが、どんな風に体を動かしているのかとお伝えしました。3歳児は、2歳児と比べると、目的地に向かってどんどん歩くことが多くなるように思います。目的地で何とよいかとイメージをわつことかができるからでしょう。同時に体力もついたので、月曜日は文理台公園へ行ったり、畑へ行ったりして森林公園へ行ったりと、遠くまで歩いて出かけるように「おりました。おちろん。子どもたち相談して目的地と決めるのです。どんどん歩くだけでなく、のどが乾いたら、自分で水分補給をすることもできるように。適宜休息をとることも身についたと思います。そして、楽しく歩くには、気力が重要だと実感しています。

3歳児4人の中には、競争意識も芽生えてきているように見えます。かけこする時はおちろんのこと、森林公園の固定遊具への関わり方を見ていると、友達がいっているのを見て、挑戦する姿が見られるようになってきました。慎重な子どももいますので、一人一人が自分のペースで動きをバリエーションを増やしていくことができればよいと思います。

それについて、1学期は、どんぐりころころの家の前や、公園の広場をよく走りまわりました。電車によって走ることが多かったと思えますが、子どもにとって、走ることはいかに楽しいことなのかよく分かりました。思ふように体を動かすことのできる喜びに気づくと思えます。思いつく走ることには、物理的に難しい世の中に「おちろん」が残念です。

1学期遊びに行った公園の中で、特に遊びが充実した公園。下保谷第三児童遊園（たけのこ公園）... 日陰で、夏は快適、森のよう。文理台公園... 池あり、広場あり、大まなすべり台、広い砂場あり。森林公園... アスレチックのようは遊具、夕やせ丸の遊具、起伏のある地面が特徴。森のよう。

夏の間は、セビの抜け殻探しも楽しめると思っています。地面の穴を見つけてくれるのもいいですね。

どんぐりころころはらでは、畑での教育。今年も、昨年以上に子どもが思い通りに遊んで活動しています。

今年3歳児は、3月のシガモの種ねいゆ植え付けから、畑での活動が始まりました。その時から「ニンジンと種まきしたい」と要望があったので、皆が同じものとしたいように育てるのではなく、自分が育てたいものを育てる（やりたいこととやる）という方法で畑での栽培活動をしています。保育者の提案したもののなかから選ぶ1学期に育てたもの

- ・ニンジン（種まき）・レタス（種まき）・ナタマシ他マメ教種（種まき）
- ・帝王貝紐エ（花・種まき）・千日草エ（花・種まき）
- ・バナナピーマン（種まき）・サツマイモ

1学期に収穫したものが

- ・サエドク・スタックエドク・イチゴ・キュウリ
- ・以上は、保育者が種まき及び苗の植付けをしました。
- ・シガモ・レタス

収穫したものは、全て「おちろん」で育てました。各自持ち帰り、食べたり、弁当の時に食べたりすることになりました。ある時期、イチゴは毎日のように食べられました。キュウリは、2株で100本以上収穫。レタスも何となく丸くなり、念願のサボイチャパネを開きました。

残念ながら、バナナピーマンは、いまひとつよく育ちませんでした。ナタマシ、サツマイモ、花の種は2学期、どれくらい収穫できるでしょうか...

2学期以降、種まきして育てる野菜もいろいろあります。既に「ブロッコリーの種まきしたい」と言っている子もいますので、子どもたちと話をしながら、畑での活動を進めていきたいと思っています。そして「種まき」食べられるもの、見慣れたあの野菜に「変身」することと子どもたちはどう思っているのでしょうか。種まき（ことば）の何かが